



# S様邸新築工事の現場日記



<前回のあらすじ>

昨年から間取りを考えていたS様邸の家づくりは、4月に表層改良から始まり、基礎立ち上げ、パネルを並べ、5月に建前の日を迎えることができ、順調なスタートとなりました。



吹付断熱材

5月14日

建前が終わり、すぐにパネルと柱をビスで止め、防水気密テープでふさいでいきます。2階のサンルームは『チャコの家』仕様の外になるので断熱材を吹き付ける必要があります。優先的にこの部分のテープ貼りをし、ウレタン断熱材の吹付けを行いました。断熱屋さんサービスマンで予定していた厚みよりも多く吹いてくれました！



1階

5月30日～6月8日

『チャコの家』に欠かせない24時間換気の配管も進み、2階天井の気密シートを張って、セルローズブローイングという断熱材を入れる準備が出来ました。1階も並行して進め、建前からあまり日が経たない内に壁の下地まで出来ました。かなり順調に進んでいます。



2階



気密測定器

年06月29日	データNo. 0001	自動測定 (吹付法)
対象建物面積:	C = 0.2cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup>	
建物外皮の表裏積・床面積:	S = 132.50m <sup>2</sup>	
相当隙間面積:	αA = 31cm <sup>2</sup>	
隙間率(α) (1Pa時の通気量):	n = 1.40	
1Paにおける通気量:	q = 1.4	
1Paにおける通気量:	Q <sub>50</sub> = 45.5m <sup>3</sup> /h	
室温:	30.2℃	係数(b): 0.674
室温:	33.8℃	
吹付材 (管径: 100φ)		
圧力: 2.4Pa	通気量: 82m <sup>3</sup> /h	
	通気量: 113m <sup>3</sup> /h	
	通気量: 120m <sup>3</sup> /h	

6月29日

気密測定が出来る状態になり、いざ測定！弊社の『チャコの家』では「相当隙間面積C値=0.3cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>以下」と厳しいレベルを設定しているので内心ドキドキでした。結果は0.2cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>という良い結果だったので安心しました。S様にも胸を張って報告することが出来ました！



キッチン施工中

7月4日

いよいよ工事も終盤になり、キッチンやカップボード、洗面化粧台などの水廻り設備を設置していきます。枠ピッタリ設計通りに設置出来ました。水廻りはタカラスタンダード社のホーロー製の物を使っているので汚れや傷に強く、綺麗に長持ちすることでしょう。

## 完成!

8月10日

予定よりも早く、本日S様に引き渡しをすることが出来ました。特にクロスは各部屋にアクセントになる柄を取り入れていて、S様の遊び心が表れています。これから、夏と冬を快適な『チャコの家』で過ごしていただき、今後の感想もお聞きしたいですね。外構の追加の工事もあるので、S様邸の家づくりはまだ少し続きますが、「S様邸の現場日記」はこれにておしまいです。御閲覧有難うございました！



本棚

2Fホール



外観



ウォークインクローゼット



パントリー (食品庫棚)



リビング



木目調のクロス